

食育活動の全国展開事業委託費

【令和3年度予算概算決定額 71（58）百万円】

<対策のポイント>

食育推進全国大会、消費者とつながる農林漁業者等によるデジタルを活用した食育を促進するための取組等を行い、食育の全国展開を図ります。また、国民のニーズや特性を分析し、食育推進方策の検討を行います。

<政策目標>

○ 食育に関心を持っている国民の割合90%以上（〔令和2年度まで〕第4次食育推進基本計画策定後見直し）

<事業の内容>

<事業イメージ>

食育推進基本計画に基づき、着実に食育を推進します。

1. 食育に関する調査、食育推進全国大会、食育活動の好事例収集・広報 54（58）百万円

- 食育推進全国大会等を行い、食育の全国展開を図るとともに、食育の推進状況を把握するための意識調査により、国民のニーズや特性を分析し、より効果的な食育推進方策の検討を行います。
- 管理栄養士・栄養教諭等と生産者の連携・協働を促進します。

2. フードガイド（食事バランスガイド）の見直し経費 9（-）百万円

- 「日本人の食事摂取基準（2020年版）」の策定等を踏まえ、「フードガイド（現行は食事バランスガイド）」の見直しを検討します。

3. デジタルを活用した食育の推進等 8（-）百万円

- 「新たな日常」や社会のデジタル化に対応するため、農林漁業者や食品事業者が食育に取組むための動画作成ガイドの制作等により、デジタルを活用した食育を進めます。

食育推進全国大会 食育活動表彰

- 国民の食育に対する理解を深めるため、地方公共団体との共催により開催
- 教育、農林漁業等の活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰
- 学校、病院、福祉施設等において、食育の中核を担っている栄養教諭、（管理）栄養士と生産者によるシンポジウムを開催

食育に関する調査・分析、事例収集

- 食育推進計画の目標達成状況の把握
- 事例を収集し、食育白書の特集に記載するとともに食育を実践している方々への情報提供
- 食育に関心が低い層に訴求できるよう、SDGsも踏まえ、SNSの活用、情報発信や食育推進主体の連携促進



フードガイドの見直し検討

- 栄養関係者等による検討会を実施し、フードガイドの見直しを検討



デジタルを活用した食育の推進

- デジタル化に対応した食育ツールの普及啓発
- 動画作成ガイドを制作し、ウェブセミナーを開催
- 食育関係者によるデジタルを活用した情報発信等を促進



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】消費・安全局 消費者行政・食育課（03-6744-1971）